

令和7年度(後期) 年長 「自然(育てて食べて育てる・虫)」

前期、虫探しに夢中になった子どもたち。秋頃から虫の生態や飼育の仕方など、より深めようとする姿がみられるようになりました。また、野菜の苗を育てた際、虫と人間の食べるものの違いについて考える中で、食べ物の旬や栄養についても興味を持つようになったため、クラスごとに深めたいことをテーマとして設定し、みんなで考え、調べたり記録したりしました。



「虫の大きさ比べをしてみたい！」ということで、カッター板に目盛をつけ、測ってみることに……。測ったとんぼの名前や特徴をタブレットで調べています。同じ虫でも大きさや性別による姿の違いがあることに気がついたようです。



園庭のあちこちで虫を捕まえては「あっちにいたよ!」「こっちも!」と報告し合う子どもたち。どこにどんな虫がいたのか、虫マップを作ることにしました。「階段にもいた!」「部屋の中にも!」と見つけるうちに、園庭だけでなく、園全体の虫マップができあがっていました。



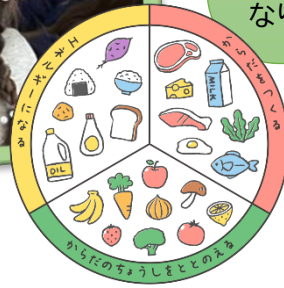
カブト虫の飼育をきっかけに始まった、**世界に一つだけの図鑑**作り!
「蚊ってなんで刺すんだろう?」「カメムシってなんでくさいのかな?」「キンモクセイのおいほどこまで届くんだろう?」などと、虫や植物に関心や疑問を持ち、実験しながら図鑑に書き込んでいきました。



野菜を栽培・収穫し、「あれも育ててみたい!」「この野菜どうやってできているんだろう?」と考える中で、野菜ごとに育てるのに適した時期やおいしい時期があることがわかりました。そこで好きな食べ物の旬の時期を調べてみることに。野菜だけでなく「カジキマグロは?」「のりは?」などと意見も出て、オリジナルの旬の食材カレンダーができました。



自分たちが育てた野菜を食べ、「おいしいね」「なんかパワーが出てくるね!」と言い合う子どもたち。調理の先生から「食べ物には本当にいろいろなパワーがあるんだよ」と教わり、調べてみることに…。三要素について知るうちに「これは赤パワーだ!」「こっちは緑パワーだね」と分類を楽しむようになりました。



自分たちが調べたことをまとめ、他学年に向けて発表会を行いました。「虫が苦手だったけどがんばって触りました」「かぶを抜くのが楽しかったです」「虫を本物みたいに描くのが難しかったです」などと、それぞれ発表してくれました。質問タイムでは「1番おいしかった野菜は何ですか?」「虫がいっぱいいたのはどこですか?」などと聞かれ、子どもたちなりに一生懸命考えながら答えていました。

